



認知症 気づきの チェックリスト



✓ 複数当てはまったらご相談を。

- ☐ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる。
- ☐ 同じことを何度も「言う」「問う」「する」。
- ☐ しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- ☐ 財布・通帳・衣類などを「盗まれた」と人を疑う。
- ☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- ☐ 新しいことが覚えられない。
- ☐ 話のつじつまが合わない。
- ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった。
- ☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- ☐ 慣れた道でも迷うことがある。
- ☐ ささいなことで怒りっぽくなった。
- ☐ 周りへの気遣いがなくなり、頑固になった。
- ☐ 自分の失敗を人のせいにする。
- ☐ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた。
- ☐ ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- ☐ 「頭が変になった」と本人が訴える。
- ☐ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった。
- ☐ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- ☐ ふさぎこんで何をやるにもおっくうがり、いやがる。

※(社)認知症の人と家族の会作成
「家族がつくった認知症早期発見のめやす」より

地域包括支援センターへご相談ください。

地域包括支援センターとは、地域のさまざまな社会資源を使い、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。

地域の身近な相談窓口として、総合相談・支援や介護予防活動を行っています。

地域包括支援センター一覧

(岩手西北医師会管内)

◇八幡平市地域包括支援センター (八幡平市役所内1階)

住 八幡平市野駄21-170 ☎0195-74-2111

◇滝沢市地域包括支援センター (滝沢市役所内1階)

住 滝沢市中鵜飼55 ☎019-656-6523

◇雫石町地域包括支援センター (雫石町健康センター内1階)

住 雫石町万田渡74-1 ☎019-691-1105

◇葛巻町地域包括支援センター (葛巻町保健センター内1階)

住 葛巻町葛巻16-1-1 ☎0195-66-2111

◇岩手町地域包括支援センター (岩手町役場1階健康福祉課内)

住 岩手町大字五日市10-44 ☎0195-62-2111

認知症は誰でもかかる可能性がある
身近な病気です

認知症 について 気になったら ぜひ ご相談を!!



岩手西北医師会と盛岡広域振興局・岩手県県央保健所では、管内5市町と連携し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指しています。認知症に関する不安・悩みは、ひとりで抱え込まず相談してみましょう。



盛岡広域振興局・岩手県県央保健所
岩手西北医師会(監修)

認知症は早期発見・早期対応が大切です!

気になることがあったら、地域包括支援センターやかかりつけ医に相談しましょう!

「あれっ?これって認知症?」

と思ったら

認知症の初期では、本人も家族ももの忘れ等の異変には気づいているものの、「どこを受診したらいいかわからない」「年相応かもしれない」「本人に認知症とは言にくい」等の理由から、対応が遅くなることがあります。



対応としては、

- 1 診断をもとに必要な応じて認知症やそれに関連する病気の治療を進めていくこと
- 2 本人が感じている生活のしづらさやそれにとまなう不安・混乱を周囲がよく理解し受けとめること
- 3 本人ができることはできるだけ続け、本人が苦手なことは周囲がさりげなくサポートしていくことが大切です。

「認知症の診断や治療について詳しく知りたい」

といった専門医療に関するご相談は

岩手県認知症疾患医療センター(基幹型)

(岩手医科大学附属病院神経内科・老年科内)

☎019-652-7411(直通、平日・日中)

初期相談の流れ

認知症の方や認知症が疑われる方で

- ✓ 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している
- ✓ 医療サービスや介護サービス等を利用していない
- ✓ 何らかのサービスを利用しているが、認知症による病状が強くどのように対応してよいか悩む、困っているなど、

相談

まずは、お住まいの
地域包括支援センター
へご相談ください。

※お問い合わせ先は裏面をご参照ください。

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員
などの専門職が相談に応じます。

検討 アドバイス

- 家庭訪問や状況把握
- 本人の状態をふまえた受診の促しや医療機関との調整
- 適切な介護保険等のサービスの検討
- そのほかの関係機関との連絡調整

各機関へ 引き継ぎ



居宅介護支援事業所などの
関係する機関へ紹介や引き継ぎをします。

認知症医療の初期的な対応

- 国の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、平成30年度を目標として、全ての市町村に「認知症初期集中支援チーム」の設置を推進しています。
- 認知症初期集中支援チームとは、認知症サポート医と認知症ケアの実務経験等を有した医療と介護の専門職による認知症の初期対応を行うチームです。
- 盛岡広域振興局管内では、平成27年度に滝沢市と雫石町で初期集中支援チームが設置されました。早期発見・早期対応の体制のさらなる充実に向け、今、取組みが進められています。



地域における認知症への取組み

- 岩手西北医師会では、滝沢市・雫石町・八幡平市・岩手町・葛巻町・盛岡市玉山地区の地域において、岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク(やまぼうしネットワーク)の取組みを進めています。
- やまぼうしネットワークでは、いくつかの医療機関がもの忘れ相談医となり、認知症の初期診断や治療、サポートに携わる多職種の連携による研修や事例検討会等を行っています。また、認知症対策の推進に関わる認知症サポート医や認知症の専門医療機関である岩手県認知症疾患医療センターとも連携しています。

※やまぼうしネットワーク: “やまぼうしの花”のように、地域の様々な人たちが認知症の人に寄り添って、笑顔の花を咲かせたいという願いを込めた名称です。



やまぼうしちゃん